

日本渡航医学会 薬剤師部会セミナー

「海外渡航時の薬の携行について

～注意しないと捕まりますよ！～

7月14日（日） 16:00～17:20 研修センター棟

4階 セミナー室1

演者：佐藤 厚（London Drugs）
瀧藤 重道（このみ薬局大曽根店）

昨今の急速なグローバル化に伴い、渡航時の医薬品の携行について、薬局薬剤師が質問を受けることは多い。

実際 2017 年、2018 年の日本渡航医学会薬剤師部会による調査でも、薬局薬剤師にとっての大きな関心事であることが示されており、具体的には、「海外旅行に薬を持って行けるのか」、「薬がなくなったらどうやって調達すれば良いのか」といった相談が多い。

しかしながら、現在の日本では、渡航先での薬の合法性を事前にチェックする機能や、ユニバーサルな英文薬剤携行証明の作成ができるようなシステムがない。

そこで、今こそ、薬のプロフェッショナルとしての、日本渡航医学会の薬剤師部会の出番である。薬剤師として、内服の慢性疾患の薬はもとより、コールドチェーンの必要な生物学的製剤やインスリン製剤、向精神薬や麻薬の携行についての質問に答えられるようになるためのガイダンスを提供し、また、帰国者向けにも、例えば日本では所持・譲渡が禁止されているものの、海外諸国で急速に医療目的での使用が解禁されている大麻（カナダでは嗜好用としても解禁）についての説明を加える。

